

《担当者名》福祉マネジメント学科全教員

【概要】

プロジェクト研究として、3年間の講義・実習・演習等を通じて学んだ専門的な知識や技術をもとに、地域にある問題やニーズについて、具体的な問題解決につながる計画を立案し、担当教員の指導のもとで実際の活動として実施し、その過程・結果をまとめる。

【学修目標】

学生が各自の問題意識・関心のあるテーマについて、これまで学んだ知識や技術を生かし、地域にある問題の解決やニーズの充足に向けて、学生が主体的に企画・実施・評価を行うことを目標とする。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|-----------|-----------------------------|-----|
| 1 | オリエンテーション | プロジェクト研究(科目名「卒業論文」)の進め方について | 全教員 |
| 2 | 研究の実施(1) | 問題解決に向けての計画立案 | 全教員 |
| 3 | 研究の実施(2) | 問題解決に向けての計画立案 | 全教員 |
| 4 | 研究の実施(3) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 5 | 研究の実施(4) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 6 | 研究の実施(5) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 7 | 研究の実施(6) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 8 | 研究の実施(7) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 9 | 研究の実施(8) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 10 | 研究の実施(9) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 11 | 研究の実施(10) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 12 | 研究の実施(11) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 13 | 研究の実施(12) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 14 | 研究の実施(13) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 15 | 小括 | 前期に取り組み状況についての振り返り | 全教員 |
| 16 | 研究の実施(14) | 進捗状況と後期の実施計画の確認 | 全教員 |
| 17 | 研究の実施(15) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 18 | 研究の実施(16) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 19 | 研究の実施(17) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 20 | 研究の実施(18) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 21 | 研究の実施(19) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 22 | 研究の実施(20) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 23 | 研究の実施(21) | 問題解決に向けての活動の実施 | 全教員 |
| 24 | 研究の実施(22) | プロジェクト研究の振り返り | 全教員 |
| 25 | 研究の実施(23) | プロジェクト研究の振り返り | 全教員 |
| 26 | 研究の実施(23) | プロジェクト研究の振り返り | 全教員 |
| 27 | 研究の実施(24) | 学習成果のまとめ(報告書の作成等) | 全教員 |
| 28 | 研究の実施(25) | 学習成果のまとめ(報告書の作成等) | 全教員 |
| 29 | 研究の実施(26) | 学習成果のまとめ(報告書の作成等) | 全教員 |
| 30 | 総括 | これまでの学修の成果及び今後の課題の展望 | 全教員 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

取り組み状況（50%）や成果物（50%）により総合的に評価する。

【教科書】

必要に応じ、担当する教員が提示する。

【参考書】

必要に応じ、その都度担当する教員が提示する。

【学修の準備】

予習：毎回、授業時に提示する内容に取り組むこと（80分間）。復習：毎回、授業時に提示する課題に取り組むこと（80分間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3,1,2,4,5